

受賞名：全国少年警察ボランティア協会賞

タイトル：夢の警察官

氏名：村上 天望

小学校名：岡山県 岡山市立妹尾小学校 六年

私の将来の夢は警察官になることです。それも、京都府警の平安騎馬隊の警察官です。

私が初めて平安騎馬隊と出会ったのは一才の時です。母の妹の警察学校卒業式です。私は小さかったので覚えていませんが、たくさんの写真の中に馬と警察官と私が写っているのがありました。おばに聞くと、京都には騎馬隊という警察官の仕事があることを教えてくれました。その時にはそんなのも警察の仕事なんだなと思っただけでした。それから私はしばらくの間騎馬隊のことは忘れていました。でも、おばが連れて行ってくれた職場見学会やイベントで少しずつ警察官へのあこがれを持つようになっていました。いつもはキリッとしたイメージだった警察官の人たちがイベントでは優しい笑顔でいろいろなことを教えてくれました。私はイベントでキッズポリス隊の一員となって、サギ防止の劇を警察官の人たちと一緒にやりました。劇が始まる前に敬礼の仕方を教えてもらいましたが、それまでニコリとやさしい顔だった警察官の人が、敬礼の時にはキリッとした顔に戻ったのがとても心に残りました。私も敬礼をした時には背中がピンとなりました。劇はたくさんの人が見てくれて、笑顔になってみんなとても楽しそうでした。私もとても楽しくて嬉しい気持ちになりました。カッコ良い制服や制帽も着てあこがれはますます強くなりました。騎馬隊の馬場にも連れて行ってもらいました。女性の警察官が馬の手入れをしながら、パンフレットをくれたり騎馬隊の仕事のことを教えてくれました。騎馬隊の馬は競走馬として活躍していた馬も多いということも教えてくれました。私の住む町では朝の通学路に警察官の人がいることはほとんどありません。その代わりに地域の人が交代で、私たちが安全に登校できるように見守ってくれています。騎馬隊の警察官は馬に乗って通学路の見守りもしていると教えてもらって、きっと私たちを見守ってくれている地域の人たちのように、毎日やさしい笑顔で声をかけているんだろうなと、その光景が目には浮かびました。そしてその光景に私も入りたいと思いました。私も地域の人や騎馬隊の人がされているように、笑顔でみんなの安全を見守り、そして、安心して生活できるようにお手伝いできる警察官になりたいと思っています。

憧れの騎馬隊員になれるよう、私は三年前から乗馬も始めました。おばは、すぐには騎馬隊員にはなれないことも、教えてくれました。夢を実現できるまで、勉強もしっかり頑張っていて、ニコリ笑顔と、キリッと顔で、地域の方に頼られて、今の私のような子どもたちに、あこがれてもらえるような警察官になるのが、私の夢です。